



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9684 URL <https://www.hd.square-enix.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 隆司
問合せ先責任者 (役職名) グループ財務戦略部長 (氏名) 濱田 高行 TEL 03-5292-8000
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	157,591	△8.4	21,176	22.1	18,141	△30.6	11,750	△29.3
2024年3月期中間期	172,046	5.3	17,337	△33.4	26,124	△42.1	16,623	△57.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 12,090百万円 (△27.5%) 2024年3月期中間期 16,687百万円 (△56.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	97.91	97.90
2024年3月期中間期	138.70	138.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	412,245	326,205	79.0
2024年3月期	410,876	317,129	77.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 325,540百万円 2024年3月期 316,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	28.00	38.00
2025年3月期	—	28.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	43.00	71.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	△13.0	40,000	22.9	40,000	△3.7	28,000	87.8	233.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、【添付資料】P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	122,531,596株	2024年3月期	122,531,596株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,474,455株	2024年3月期	2,570,619株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	120,014,352株	2024年3月期中間期	119,849,559株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2024年11月8日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書.....	6
中間連結包括利益計算書.....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライツ・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当中間連結会計期間の業績は、売上高は157,591百万円(前年同期比8.4%減)、営業利益は21,176百万円(前年同期比22.1%増)となりました。また、為替相場が前期末と比較して円高となり為替差損が4,154百万円発生したことなどにより、経常利益は18,141百万円(前年同期比30.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は11,750百万円(前年同期比29.3%減)となりました。

当中間連結会計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

○デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメント・コンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメント・コンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートデバイス等、多様な利用環境に対応しています。

当中間連結会計期間は、HD(High-Definition)ゲームにおいて、「FINAL FANTASY XVI」、「ファイナルファンタジー ピクセルリマスター」等を発売した前年と比較して、新作タイトルからの売上が減少したことにより、前年同期比で減収となりました。一方で、開発費の償却負担や広告宣伝費が前年から減少したこと等により、営業損失が縮小となりました。

MMO(多人数同時参加型オンラインロールプレイングゲーム)は、「ファイナルファンタジーXIV」の最新拡張パッケージ「ファイナルファンタジーXIV: 黄金のレガシー」発売により前年同期比で増収増益となりました。

スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、既存タイトルの弱含み等に加え、前年にロイヤリティ収入の計上があったこと等より前年同期比で減収減益となりました。

当事業における当中間連結会計期間の売上高は98,151百万円(前年同期比19.6%減)となり、営業利益は16,834百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

○アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。

当中間連結会計期間は、既存店売上高が前年を上回ったことにより、前年同期比で増収増益となりました。

当事業における当中間連結会計期間の売上高は36,247百万円(前年同期比27.2%増)となり、営業利益は4,230百万円(前年同期比29.0%増)となりました。

○出版事業

コミック雑誌、コミック単行本、ゲーム関連書籍等の出版、許諾等を行っております。

当中間連結会計期間は、コミックス全般の販売好調により、デジタル販売及び紙媒体の販売が前年を上回り、前年同期比で増収となった一方で、商品別における売上構成比の変化等により減益となりました。

当事業における当中間連結会計期間の売上高は14,884百万円(前年同期比2.7%増)となり、営業利益は5,397百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

○ライツ・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当中間連結会計期間は、有力IPにかかる新規キャラクターグッズの販売好調等により、前年同期比で増収増益となりました。

当事業における当中間連結会計期間の売上高は9,605百万円(前年同期比14.7%増)となり、営業利益は3,384百万円(前年同期比80.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は335,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,868百万円減少しました。これは主に現金及び預金が3,453百万円、流動資産その他が3,368百万円、受取手形及び売掛金が2,376百万円減少したこと、コンテンツ制作勘定が3,546百万円増加したことによるものであります。固定資産は76,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,237百万円増加しました。

この結果、総資産は、412,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,368百万円増加しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は71,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,448百万円減少しました。これは主に流動負債その他が5,418百万円、支払手形及び買掛金が1,516百万円、賞与引当金が1,398百万円、未払法人税等が1,199百万円減少したことによるものであります。固定負債は14,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,740百万円増加しました。

この結果、負債合計は、86,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,707百万円減少しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は326,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,076百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益11,750百万円、剰余金の配当3,358百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は79.0% (前連結会計年度末は77.0%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期連結業績予想については2024年5月13日に公表した内容から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	225,901	222,447
受取手形及び売掛金	44,683	42,306
商品及び製品	4,684	5,549
仕掛品	—	77
原材料及び貯蔵品	1,033	1,816
コンテンツ制作勘定	48,577	52,123
その他	14,561	11,192
貸倒引当金	△221	△164
流動資産合計	339,219	335,351
固定資産		
有形固定資産	23,075	27,963
無形固定資産	5,881	5,801
投資その他の資産	42,698	43,128
固定資産合計	71,656	76,894
資産合計	410,876	412,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,384	22,867
未払法人税等	6,978	5,778
賞与引当金	5,345	3,947
返金負債	4,410	3,502
資産除去債務	9	2
その他	40,431	35,013
流動負債合計	81,559	71,111
固定負債		
事務所退去費用引当金	883	883
退職給付に係る負債	4,311	4,509
資産除去債務	4,902	7,388
その他	2,090	2,147
固定負債合計	12,187	14,928
負債合計	93,747	86,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,039	24,039
資本剰余金	54,368	54,428
利益剰余金	254,741	263,132
自己株式	△7,876	△7,582
株主資本合計	325,272	334,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△305	15
為替換算調整勘定	△9,038	△9,011
退職給付に係る調整累計額	566	518
その他の包括利益累計額合計	△8,776	△8,477
新株予約権	378	367
非支配株主持分	255	297
純資産合計	317,129	326,205
負債純資産合計	410,876	412,245

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	172,046	157,591
売上原価	87,162	75,097
売上総利益	84,884	82,493
販売費及び一般管理費	67,546	61,317
営業利益	17,337	21,176
営業外収益		
受取利息	618	1,148
受取配当金	0	1,334
為替差益	7,803	—
有価証券運用益	259	357
暗号資産売却益	161	—
雑収入	90	195
営業外収益合計	8,934	3,036
営業外費用		
支払利息	95	66
支払手数料	2	462
為替差損	—	4,154
移転関連費用	—	508
暗号資産評価損	48	190
事業構造改善費用	—	647
雑損失	0	41
営業外費用合計	147	6,070
経常利益	26,124	18,141
特別利益		
固定資産売却益	—	38
新株予約権戻入益	8	5
特別利益合計	8	43
特別損失		
固定資産売却損	2	10
固定資産除却損	63	49
関係会社株式評価損	1,180	—
投資有価証券評価損	141	437
その他	5	0
特別損失合計	1,392	497
税金等調整前中間純利益	24,740	17,688
法人税、住民税及び事業税	6,171	5,127
法人税等調整額	1,935	796
法人税等合計	8,106	5,924
中間純利益	16,633	11,764
非支配株主に帰属する中間純利益	10	14
親会社株主に帰属する中間純利益	16,623	11,750

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	16,633	11,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	320
為替換算調整勘定	233	54
退職給付に係る調整額	△79	△48
その他の包括利益合計	54	326
中間包括利益	16,687	12,090
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	16,666	12,048
非支配株主に係る中間包括利益	21	41

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	デジタルエン タテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・ブ ロパティ等 事業	計		
売上高							
国内	62,626	27,422	13,609	3,125	106,784	—	106,784
海外	59,394	574	859	4,411	65,240	—	65,240
顧客との契約から生じ る収益	122,021	27,997	14,469	7,537	172,025	—	172,025
その他の収益	21	—	—	—	21	—	21
外部顧客への売上高	122,042	27,997	14,469	7,537	172,046	—	172,046
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	502	24	834	1,365	△1,365	—
計	122,046	28,499	14,493	8,372	173,411	△1,365	172,046
セグメント利益	15,520	3,279	5,521	1,870	26,191	△8,853	17,337

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,853百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△8,891百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 収益分解情報は、「国内」及び「海外」に区分して記載しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・ブ ロパティ等 事業	計		
売上高							
国内	48,404	34,903	13,627	4,546	101,481	—	101,481
海外	49,694	724	1,236	4,405	56,060	—	56,060
顧客との契約から生じ る収益	98,098	35,627	14,863	8,952	157,542	—	157,542
その他の収益	49	—	—	—	49	—	49
外部顧客への売上高	98,147	35,627	14,863	8,952	157,591	—	157,591
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	619	20	652	1,296	△1,296	—
計	98,151	36,247	14,884	9,605	158,887	△1,296	157,591
セグメント利益	16,834	4,230	5,397	3,384	29,847	△8,671	21,176

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,671百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△8,699百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 収益分解情報は、「国内」及び「海外」に区分して記載しております。